

EN-S-014: ITを活用した検針活動の削減

【削減方法】

- ITを活用した燃料等消費量の自動計測及び集中管理のためのIT設備を導入することによって巡回検針業務を自動化し、車両による巡回検針にともなう化石燃料の使用量を削減する。

【適用条件】

- ① IT設備を新たに導入し、車両による検針員の巡回検針業務を減らすこと。
- ② 巡回検針場所がプロジェクト実施前後ともに特定可能であること。
- ③ プロジェクト実施前後の検針地域が市町村区の行政区画を越えて変化しないこと。
- ④ プロジェクト実施前の対象車両における燃料使用量及び検針先件数について、原則として、プロジェクト実施前の1年間の累積値が把握可能であること。

【ベースライン 排出量の考え方】

- プロジェクト実施後に実施される検針業務を、ITを活用することなく、ベースラインの車両による巡回検針で実施する場合に想定されるCO2排出量。

【主なモニタリング項目】

- プロジェクト実施後における検針先件数
- プロジェクト実施後のIT設備における電力使用量
- プロジェクト実施前の対象車両における燃料消費量及び巡回検針先件数
(原則、直近の1年間の当該値を基にベースラインの原単位を算定)

【方法論のイメージ】

